

植物病抵抗性学研究室

植物病に耐えるメカニズムを創出する

地球温暖化と物流のグローバル化で、新規植物病の発生や、既存の植物病の広域化が一層加速されることが予想されます。対処するには、植物病の迅速な診断・同定と、同定された病原に応じた適切な防除が必要です。また、長期的には植物病に抵抗力を持つ植物を作る技術の開発が求められます。研究室では、バイオテクノロジーやIT技術を利用して、植物病原の診断同定にかかわる新技術の開発を行います。さらに、病原の性質を解析し、それに耐えるメカニズムを創出する技術開発を行います。

メンバー

濱本 宏（教授）

夏目祐樹（M2）

秋山 葵（B4）・伊藤 亜理沙（B4）・岩渕 貴史（B4）

岡本 花奈（B4）・佐藤 良樹（B4）・千賀 麻弥子（B4）

中村 和彦（B4）・福原 広美（B4）

研究室のイベントなど

1. 植物病理学会関東部会, 2014 (宇都宮)

研究業績

2. 濱本 宏 “植物保護の技術士として取り組む安全・安心”, 技術士 26, 2014
3. 濱本 宏 “破砕キット、破砕装置および破砕物の集積方法”, 特開 2012-198148, 2012

担当教員

教授 濱本 宏 (はまもと ひろし)



- <専門(担当)分野> 植物病予防学、植物メディカルシステム学、植物病学概論
- < 経 歴 > 理化学研究所植物科学研究センターチームリーダー、東京大学大学院農学生命科学研究科特任准教授
- < 主な業績 > 植物病原菌類の薬剤抵抗性の分子診断法の開発、植物ウイルスベクターを用いた機能性植物の作成